



あ

あか げんき
 明るく元気な

よしも こ
 吉母っ子

明治7年西光寺内の一室を仮校舎とし「寄藻小学校」を開校。
 明治9年校舎を新築移転。明治20年吉母簡易小学校、明治25年
 吉母尋常小学校、昭和29年下関市立吉母小学校となりました。



い

いげづき するすみ めいば
 池月と磨墨という名馬

うじがわ いくさ しょうり
 宇治川の戦で勝利する

御崎牧場の母馬が死に、滝壺に映る自分の姿が母に見え、
 母馬恋しさに滝壺を泳ぐうち足が丈夫な名馬となり、
 源義経軍がこの二頭に乗り勝利したと伝えられています。

う



う

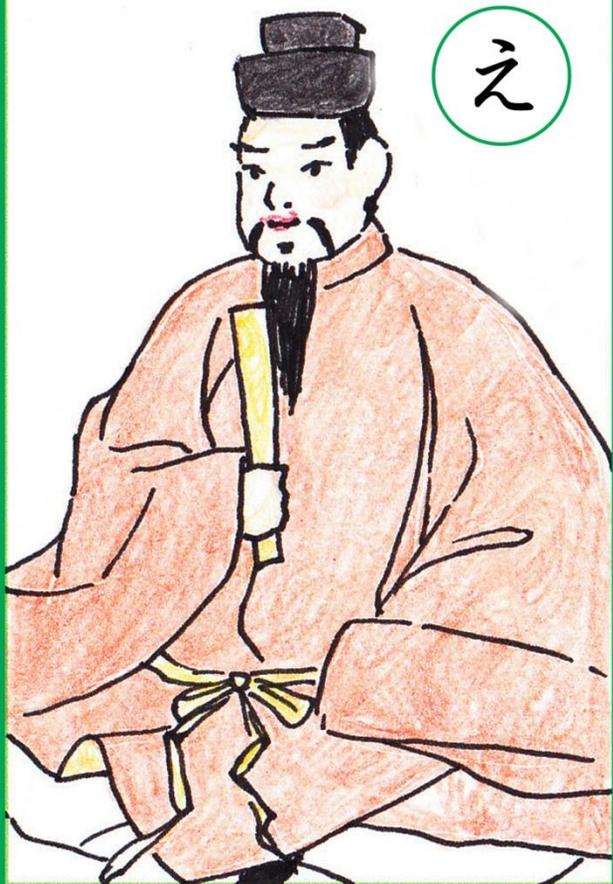
うに さざえ

どこにも負けない

うみ さち
海の幸

よしも
吉母のウニとサザエは特に美味しいといわれています。

え

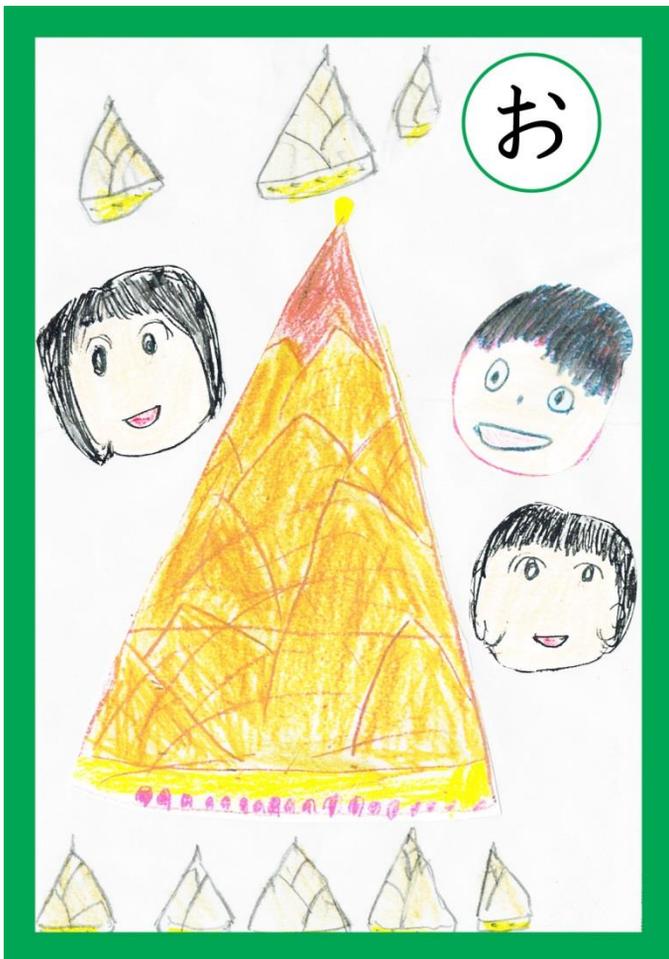


え

えなづか
胞塚は

おうじてんのう
応神天皇 生誕の証

じんぐうこうこう
神功皇后が韓半島からの帰途、御崎の畳石から上陸し、
はまべ
浜辺で海の藻を寄せ集め応神天皇を出産。
その際の胞を埋めた跡と伝えられています。



お

おも 思いやる
こころ はぐく
心育む

おうま 合馬のタケノコ

かいすいよく 海水浴にきた合馬小(福岡県北九州市)児童が大雨に遭い、
よしもよう 吉母小で雨宿りしたことがきっかけで始まった姉妹校交流は、
ねん 2019年に60年目を迎えます。合馬はタケノコの名産地。

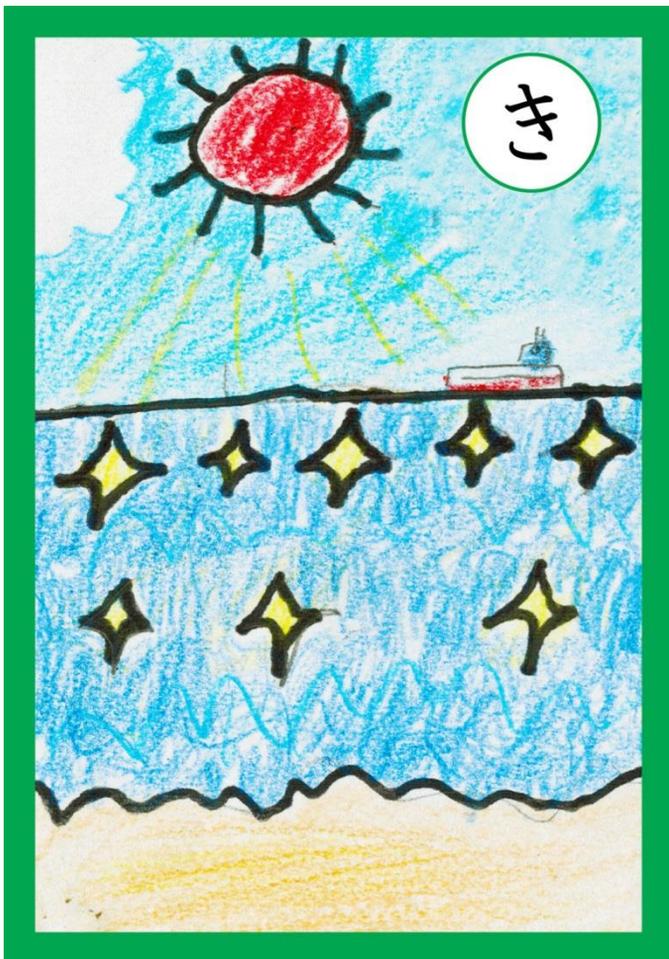


か

かんぼ 寒干し大根

かぜ 風に吹かれて
あじで 味が出る

かんぼ 寒干しに使う大根は太く長い大根です。一本を数本に割り、
かたちとどの 形を整えて二本を束ね、干す作業と丸く揉む作業を数回
かえ 繰り返し製品になります。関西方面で好評です。



き

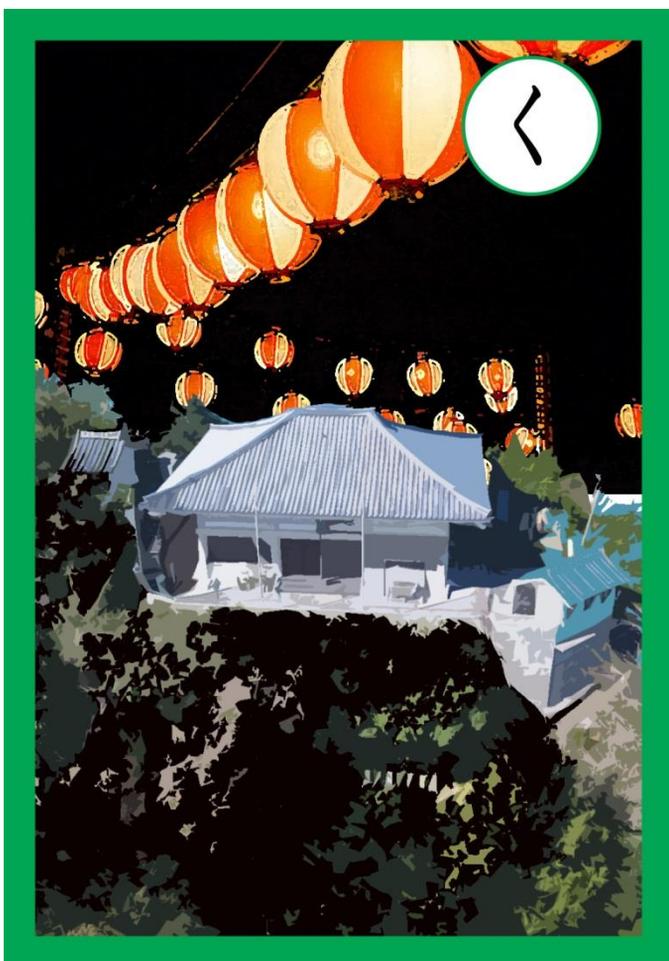
キラキラキラ

よしも うみ

吉母の海が

光ってる

教室の窓から見える夏の海は、
太陽に照らされ、とても輝いて見えます。



く

黒嶋観音

夏祭り

十七夜祭

賑やかに

以前は旧暦の6月17日に執り行われていました。平成元年
から、新暦の7月第4週の土曜日に執り行われています。
お経を唱え、経本でポンポンと背中を叩かれるのが特徴です。

け



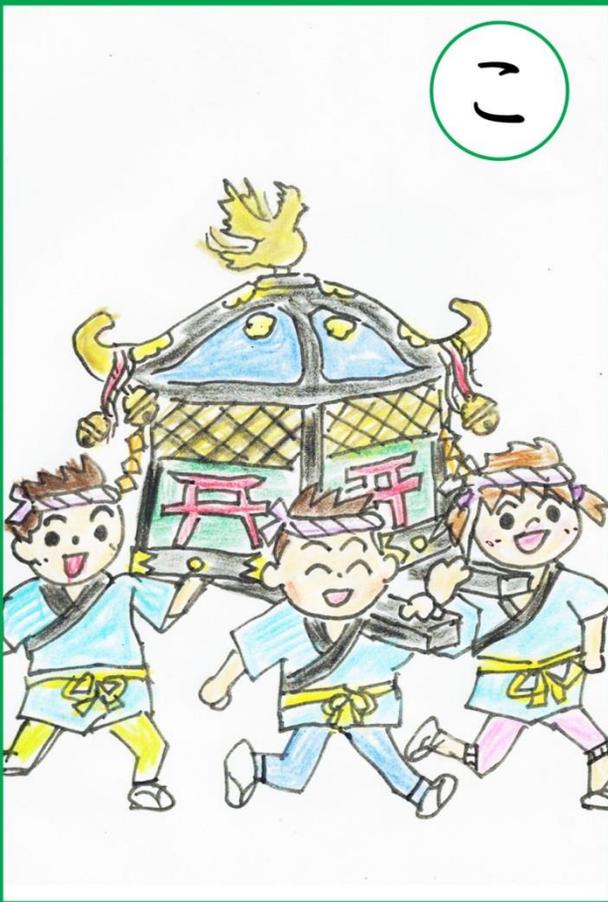
け

健康づくりけんこうに
びしゃのはな

毘沙ノ鼻 ウォーキング

「本州最西端ほんしゅうさいせいたんの地ち」碑ひは市の最終処分場敷地内さいしゅうしよふじょうしきちないにあり、
普段ふだんは見るみことができません。
年に一度ねんいちどのウォーキングイベント時じに見みることができます。

こ



こ

子ども神輿こどもみこし

担かつぐぼくらに
汗あせ光ひかる

五月ごがつの恵比寿祭りえびすまつりでは、大漁旗たいりょうぼたを掲かげた海上パレードかいじようの後あと、
子ども神輿こどもみこしが担かつがれ練ねり歩あるきます。神事しんじの後あと「おこもり」が
あり、漁家総出りようけそうでで御馳走ごちそうを持もち寄より宴えんかい会おこなが行かわれます。

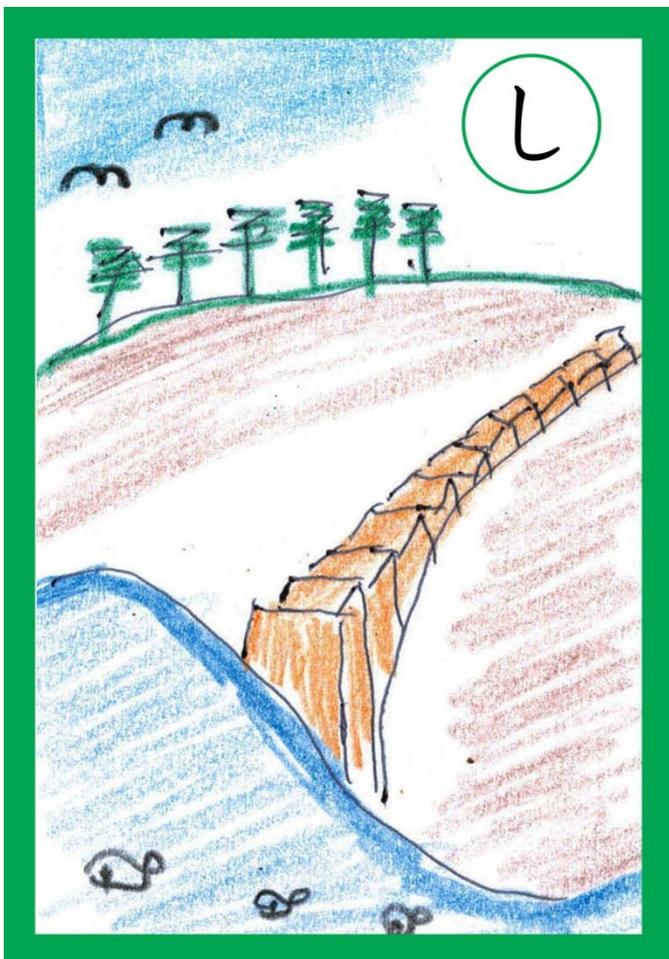


さ

さかな
魚も ぐんぐん

およ
泳いでる

よしも
吉母の海は、青や赤などのきれいな魚が
たくさん泳いでいます。
りょうしつ
良質のサワラが獲れます。



し

しんわ
神話の里 吉母

ゆめ
これが夢に見た畳石
み たたみいし

びしゃのはな
昆沙ノ鼻の崖下附近にあり、海中から階段状の
おうちやくしよくいわ
黄茶褐色の岩があります。神功皇后が帰朝のとき、
じんぐうこうごう
ここから上陸されたと伝えられています。

す

すいだいせい
水大生

よしも おうま
吉母と合馬と

じびきあみ
地引網

まいとし がつ おうましやう
毎年7月、合馬小との海水浴交歓会、水大生が大活躍です。
かいすいよく じびきあみ
海水浴や地引網などが行われ、タイヤイカ、ヒラメヤズスキ
など、獲れた魚は合馬の皆さんにプレゼントされます。

す



せ

せんになづか
千人塚

へいし
兵士の亡き骸

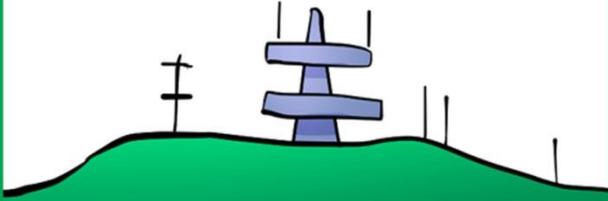
くよう
供養する

13世紀の終わりごろ、日本に押し寄せた「元」の兵が
ぼうふう (神風) のため船はみな沈み、その死体が流れて
きたのを埋めたと伝えられています。

せ



そ



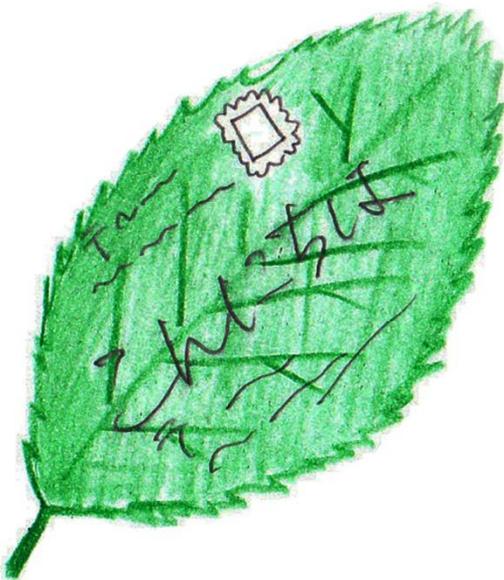
そ

聳え立つ そび た

草場山の くさばやま テレビ塔 とう

草場山は、標高 ひょうこう 289.7m メートル。
テレビ中継局が、設けられています。
ちゅうけいきょく もち

た



た

タラヨウの木 き

ハガキの木 き

西光寺の庭 さいこうじ にわ にあり

多羅葉の木は、葉の裏面に文字を書くことができ、大昔は
たらよう き は うらめん もじ
経文を書いていたそうで、多くは寺院に植樹されています。
きょうもん か おお
また、ハガキの木としても有名です。
また、 はがき の き としても 有名 です。

ち

ちいき
地域の お祭り

たの
楽しいな

よしもちいき さんだいまつ
吉母地域の三大祭り
ごがつ 五月 恵比寿祭り 七しち月 黒嶋観音夏祭り
くがつ 九月 若宮神社秋季例大祭



つ

つ
ツール・ド・しものせき
よしも かいどう 疾走す

しものせきし ちやうしん
ツール・ド・しものせきは、下関市を中心として開催される
サイクリング大会です。2005年ねんから始まり、2016年ねん
にはコースが延長され、長門市との共同開催となりました。



て



て

手に取って

石笛 耳にあててみる

黒嶋の浜辺で穴の開いた石を拾い、「耳が通じるようになり
ますように」と黒嶋観音でお祈りをしました。
この石を吹くと笛のように鳴るので石笛といひます。

と



と

東光坊は 黒仏様の
心のふるさと

現在、石仏2基が残っています。
豊浦町厚母の安養寺の大仏は、東光坊にあった
黒仏様ともいわれています。

な



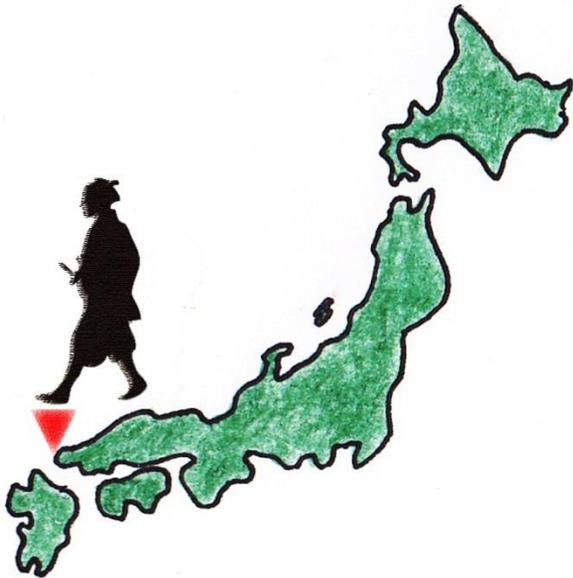
な

なつまつ
夏祭り

はなび
花火が咲くよ
夏なつの空そら

まいとし がつ おこな
毎年7月に行われる黒嶋観音夏祭りでは、祭りの終わりに
はなび あ
花火が上がります。海うみの上うえで大きな音おととともに広がる花火は、
とてもきれいで見み忘わすれたえがあります。

に



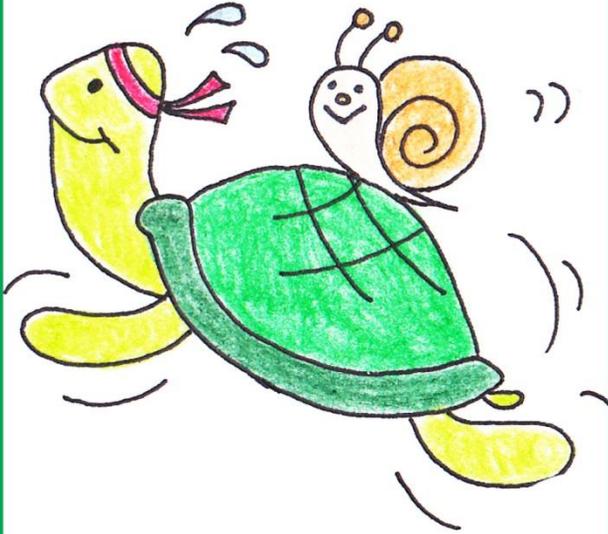
に

にほんちず
日本地図
いのうただたか
伊能忠敬

しょうがつしらす
正月不知は
みさき
御崎の事こと

みさき おんだん
御崎は温暖でスイセンが早く咲き、大変よく売れました。
ひとつぜんう
ある日突然売れなくなったと思おもったら正月しょうがつに入はいって、と
はなし
いう話はなしから伊能忠敬いのうただたかの地図ちずに「正月不知しょうがつしらす」と記しるされています。

ぬ



ぬ

「ぬるさく」は

よしも ほうげん

吉母の方言

「のろま」のこと

他に、いぬる↓^{かえ}帰る おだん↓^{わたし}私 くえる↓^{くずれる}くずれる
へたら↓^なそしたら ほうかる↓^な投げる さめしい↓^{さび}淋しい
おもいで↓^{おも}思いがけず などがあります。

ね

2018 → 2019



ね

ねんまつ
年末の

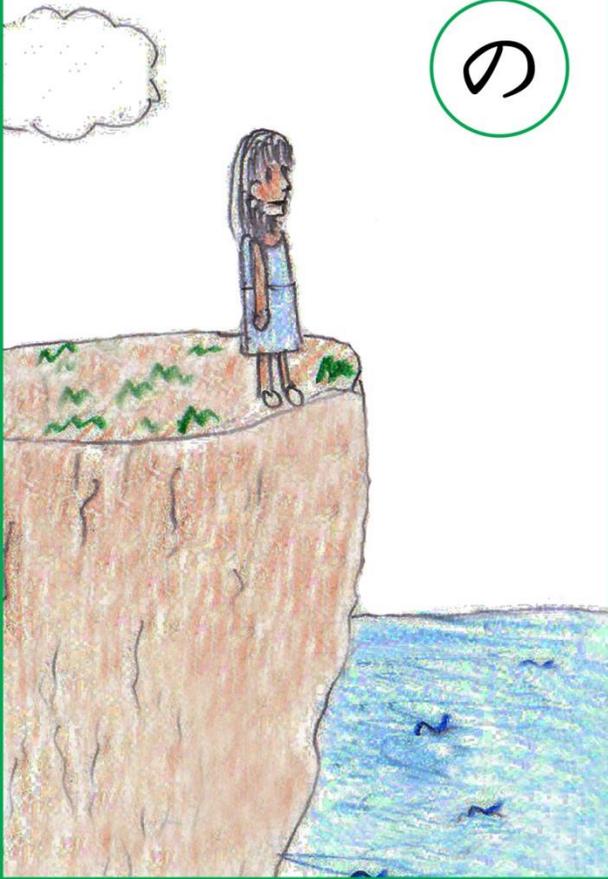
よしもしょう こうれいぎょうじ

吉母小 恒例行事

かどまつ
門松・しめ縄

まいとしねんまつ
毎年年末になると、吉母小の児童たちは、地域の方々と
いっしょに、門松・しめ縄作りを行うのが恒例行事となっています。

の



の

のぞく
覗く岩

いせ
威瀬の岩瀬の

しんわ
神話あり

おいせという女がこの瀬に捨てられ一生を終えたことに
因んで「いせの岩瀬」と呼ばれていました。
災いが続くので祠を建て供養したとされています。

は



は

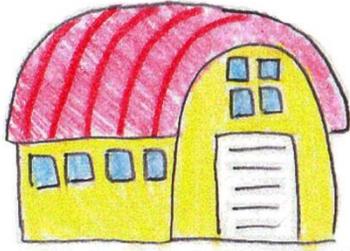
ハマユウ
ハマユウ

植えたよ

くろしまかいがん
黒嶋海岸

吉母海岸は「吉母海岸植物群落」として、他の海岸植物と共に
昭和44年10月1日、下関市の天然記念物として指定を受けま
した。海岸清掃時、吉母小児童の手でハマユウを植樹します。

ひ



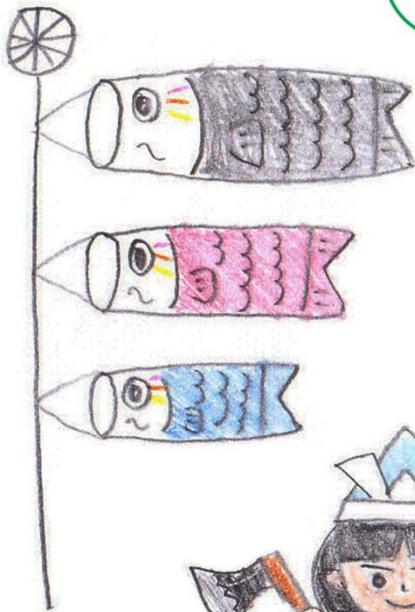
ひ

ひばりげめいば
雲雀毛の名馬

みさきぼくじょう
御崎牧場で 育ちけり

母馬を亡くした子馬が、母馬恋しさにいななき、やまびこで聞こえる声を母馬と思い、蓋井島と牧場を泳いで渡りました。何度も繰り返すうち、毛並みも良く足も丈夫で立派な名馬となり、大内義隆の愛馬となりました。

ふ



ふ

ふたおいじま
蓋井島に

む
向かって泳ぐ

こいのぼり
こいのぼりが建てられます。子どもたちの成長を願い、海に向かって泳ぐこいのぼりは、とても勇敢に見えます。



へいわ せんそう
平和と戦争

にんげんぎょらいきちあと
人間魚雷基地跡

みおも
見て思う

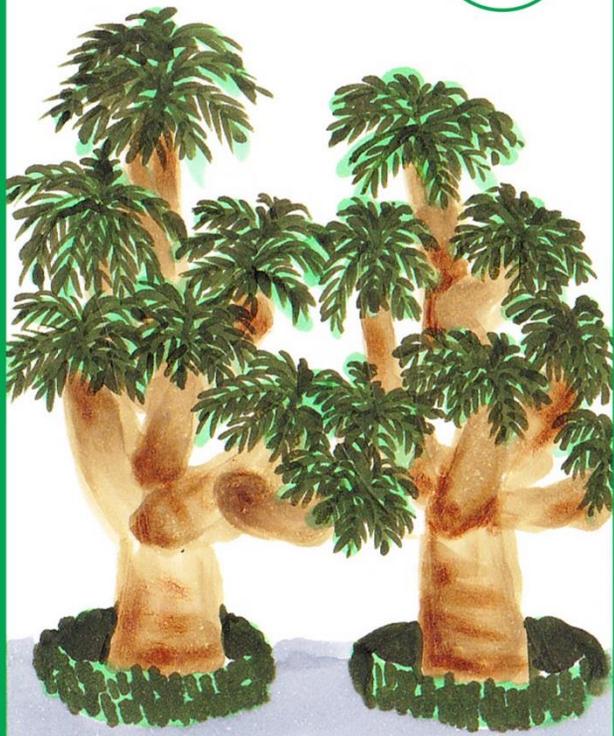
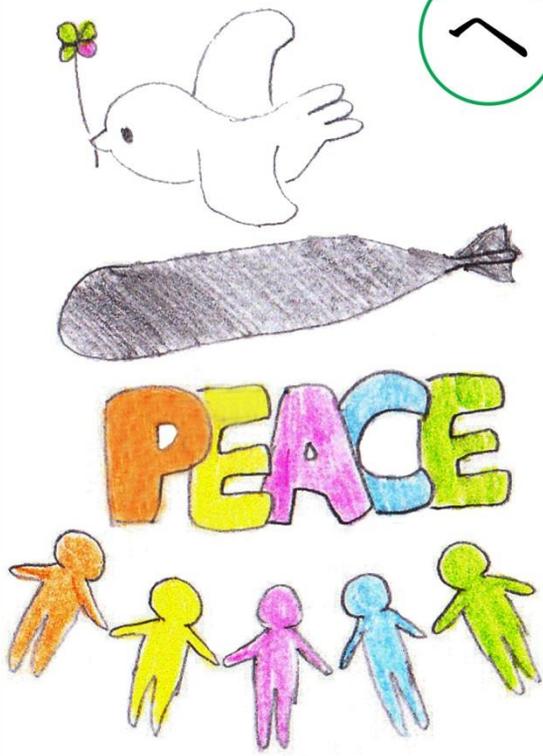
たいへいようせんそうまつき ほんどけっせん そな にんげんぎょらい きち
太平洋戦争末期、本土決戦に備え人間魚雷の基地とするため、
くろしま ていぶ さんぼんめ ちやくしゅ
黒嶋の底部にトンネルを掘りました。三本目に着手したこ
ろで終戦を迎えました。



ほうりんじ
法林寺

ななえだいつつい そてつ
七枝一对の 蘇鉄あり

ほうりんじ
法林寺のソテツは昭和41年6月10日、山口県指定有形文化財
に指定されています。さゆうたいしやう う えた
左右対称に植えられ、枝は7本。
ふつきやうせいすう ひと て くわ すいそく
7が仏教聖数であるので人の手が加えられたと推測されます。



ま



ま

まんよう
万葉の里 来てみれば

かなた
はるか彼方が

みわた
見渡せる 毘沙ノ鼻

ほんしゅうさいせいたんち
本州最西端の地「毘沙ノ鼻」 絶景が自慢です。
とうけい
東経130度51分 北緯34度06分

み



み

みちばた
道端に

くびな
首無し地蔵 哀れなり

せ
「背な禿げの地蔵」とも呼ばれています。昔は、化け物が
で
出るといので、お地蔵さんを安置しました。ばくち打ちが
えんぎ
縁起として首をもいだともいわれています。

む

むらびと
村人が

禁を破って お齋石

1月8日から一週間「お忌さん」という禁忌を伴う祭事が行われてきました。老夫婦が海藻を取りに出て帰る途中、馬に乗り見回る神様に会い、とっさに「私たちは石です」と答えたので踏んで通られました。石にはひずめの跡が残っています。

む



め

メガロサウルスの

足跡発見！ 大河原海岸

平成5年5月、ジュラ紀の恐竜の足跡が2つ発見されました。小さい方はメガロサウルス類、大きい方がイグアノドン類。現在は北九州市いのちのたび博物館に収蔵されています。

め



も

も 藻を集め

皇子を産んだ

神功皇后

神功皇后伝説によると、韓半島からの帰途、村人たちが海岸に打ち寄せられた海藻を集め寝床をつくり、若宮（応神天皇）が産まれたといわれています。



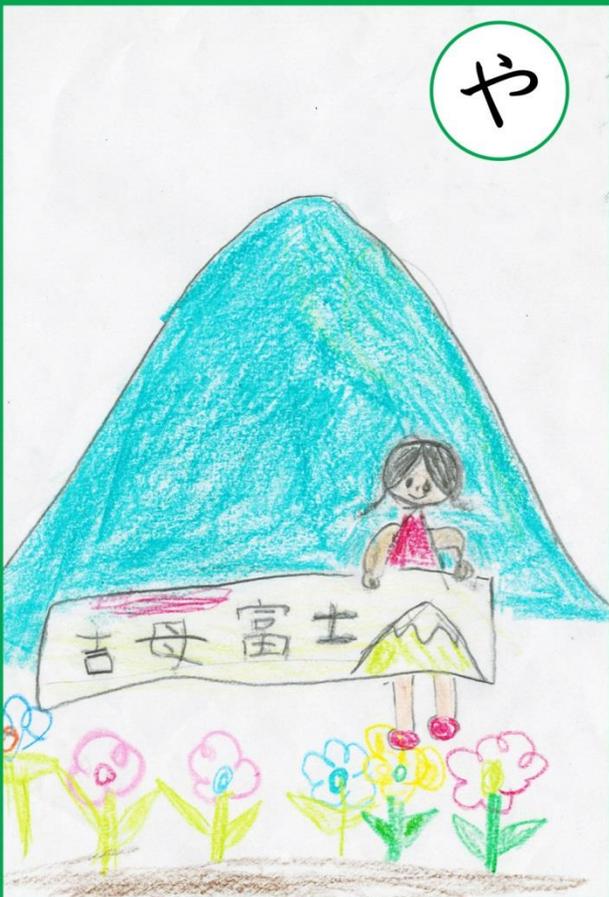
や

やっほー

吉母富士に

登ったよ

標高308.6m 二等三角点
正式名称「小倉が辻」は美しい裾野の山容から「吉母富士」の愛称で親しまれてきました。山頂には明治38年日露戦争の時、ロシア艦隊の動向を見張る監視小屋がありました。



ゆ

ゆく年来る年

除夜の鐘

若宮神社の楼門で

若宮神社には、応永4年(1397)に鑄造された銅鐘一口と長祿2年(1458)に鑄造された銅製鰐口一口が保存されており、昭和46年11月16日、下関市有形文化財に指定されました。



よ

寄せ藻は吉母の

地名の始まり

吉母は、はるか昔「汀の里」と呼ばれていました。神功皇后が韓半島からの帰途、浜で藻を寄せ集め、その上で応神天皇が産まれたことから「寄せ藻」が転化して「吉母」となったと伝えられています。

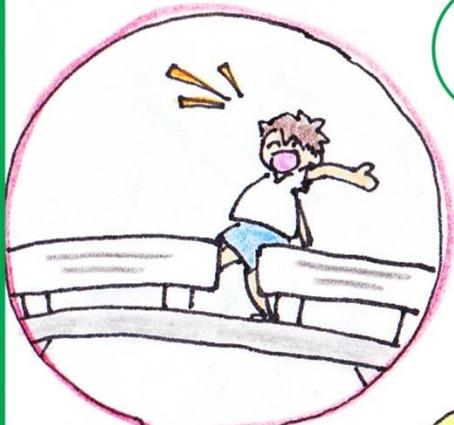


ら

らんかん 欄干に刻まれし

よしも 吉母の名所「最西端橋」

しものせきし 下関市の市道で平成11年に建設された橋。長さ20m幅4m。橋のたもとに「最西端橋」の銘盤、側面には毘沙ノ鼻が描かれています。夏にはホテルが飛び交います。



ら

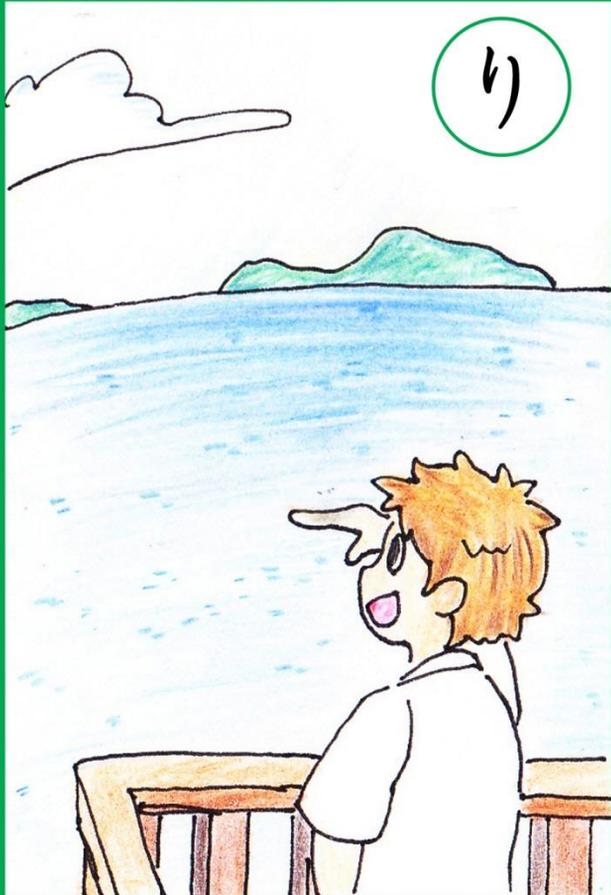
り

りとう 離島は何個

み 見つかるか？

さいせいたん 最西端から見る景色

びしゃのはな 毘沙ノ鼻からは、蓋井島・藍島・馬島・六連島・竹ノ子島・彦島・長州出島・水島・白島・貝島・角島が見渡せます。年に数回、世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島が見えます。



り

る

ルックス最高！

さいこう

ゆるキャラよんたん君

くん

ひがしとどがさき いわてけんみやこし にし びしゃのはな やまぐちけんしものせきし
 東(銚子崎) 岩手県宮古市 西(毘沙ノ鼻) 山口県下関市
 みなみ しおのみさき わかやまけんくしもとちよう きた おおまさき あおもりけんおおまちよう
 南(潮岬) 和歌山県串本町 北(大間崎) 青森県大間町
 ほんしゅうよんたん ばしよ ちずず かくにん
 本州四端の場所、地図で確認してみませんか。

る



れ

連想する弥生の人

れんそう

やよい

吉母の浜での生活を

よしも

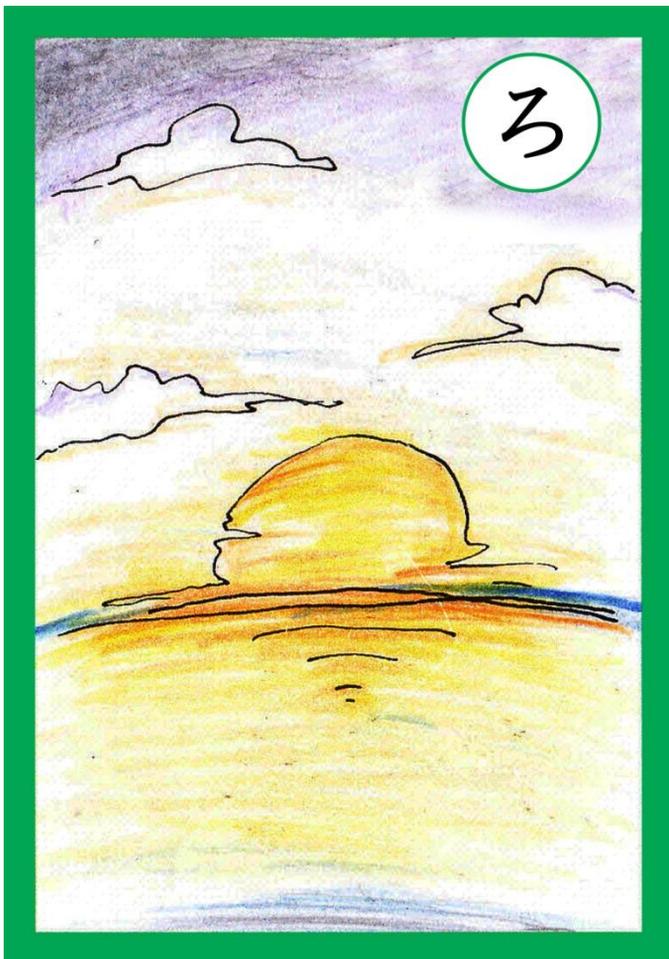
はま

せいかつ

よしもはまいせき やよい じんこつ たい しにし お
 吉母浜遺跡から、弥生の人骨8体(すべて西を向く)が出土
 しました。吉母の砂丘は貝殻の小さい粉が砂のようになって
 いるアルカリ性の土のため、そのままの形で残っていました。
 ふくそうひん どき かい しめつど
 副葬品として、土器や貝などが出土しています。

れ





ろ

ロマンチック

ほんしゅうさいご
本州最後の夕日

すいへいせん
水平線に沈む

おお
大きな太陽が水平線に沈む光景は、
わたし
私たちにロマンとエネルギーを与えてくれます。



わ

Y G C

わか
若さとパワーで

まちおこし

よしみ
Yoshimi Girls' Collection (Y G C) は、水産大学のまちおこし
サークルです。吉見地区のイベントを楽しく賑やかに盛り上
げる活動は評判で、市内各所からオフアアが殺到しています。



を

竹田番匠を

訪ねて

来た妻 この地に果て

若宮神社を造営した大工の名人、竹田の番匠の妻が、夫逢いた
 さに日田から訪ねてきたが、他の地に移っており、逢えない
 ままこの地ではてました。土地の人は哀れに思い、辻見堂を
 建て地蔵尊を祭り霊を慰めました。



ん

水田に

映る山影

幾年も 変わらぬ景色

吉母の里

海と山がある自然豊かな吉母。
 子どもたちに残したい故郷です。